

# 令和2年度事業計画書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

## 1. 目的

熊谷法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、租税教育を通して広域的な交流、地域への社会貢献を行い、「元気な企業経営者」をサポートする、2市1町の「経営者の団体」である。企業経営の中で重要なウエイトを占める「税」に対して正しい知識を得る為の研修・研鑽の場を提供すると共に広域的な組織力を活かし会員同士の交流・情報交換・親睦を図り、「支部が主役」の役に立つ法人会を目指し、会員企業の発展に寄与して参ります。

## 2. 事業

- (1) 税知識の普及を目的とする事業
- (2) 納税意識の高揚を目的とする事業
- (3) 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業
- (4) 地域企業の健全な発展に資する事業
- (5) 地域社会への貢献を目的とする事業
- (6) 会員の交流に資するための事業
- (7) 会員の福利厚生等に関する事業
- (8) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

## 3. 基本方針

- (1) 納税意識の高揚と税務意識の普及の為の研修、広報活動を推進すると共に、税のオピニオンリーダーとして税制改正提言を行う。また、e-Tax及びダイレクト納付の利用促進に積極的に協力する。
- (2) 公益法人として、地域社会貢献活動を積極的に展開し、地域社会の発展に寄与する。
- (3) 健全な納税者団体として、又良き経営者を目指すものの団体として、会員企業をはじめ管内事業者の経営に寄与すべく諸事業を推進する。
- (4) 金融機関をはじめとする協力団体と連携し、組織の基盤である会員増強運動を実施する。併せて、会員相互の交流や魅力ある組織づくりのため、幅広い事業を実施するとともに、会員企業の経営安定の為、福利厚生制度の普及推進に努める。
- (5) 公益法人制度に対応した組織運営に努めるとともに、事務の効率化を図る。
- (6) 公益法人としての活動を広く周知し、組織の認知度を高める。

## 4. 事業計画

### (1) 総務関係

- ① 令和2年度収支予算策定・執行状況の検討及び確認
- ② 各支部との連携強化及び情報共有化
- ③ e-Taxの普及拡大の推進
  - 利用率の向上（2020年/1月末95.2%→2021年/3月末100%達成目標）。
  - 様々な事業機会を活用し、e-Taxの利便性を啓発し、活用の推進を図る。
- ④ 「法人会アンケート調査システム」の利用促進
- ⑤ 公益目的事業比率の堅持

### (2) 組織関係

- ① 会員増強月間である9月～12月を中心に、金融機関をはじめとする支援団体と連携し、役員が中心となって会員増強運動を展開する。
  - 「役員一人1社会員獲得運動1000」による会員増強
  - 「法人会加入のメリット」を見やすく・分かり易く刷新

- 役員で紹介運動の実施（会長、組織委員長連名による紹介状の作成）
- 新設法人先へのアプローチ → AIG損保のV-Toolの活用
- 金融団及び提携生損保、税理士会による組織委員会の開催 → 会員増強を要請
- 目標達成した個人及び団体への表彰を行う。
- ②支部単位の推進会議の開催のほか、現会員を含め地域に密着した本会活動の理解を深め創意工夫のある活動を行う。
- ③青年部会、女性部会組織の拡大強化と活動の充実支援 → 会員の紹介運動を展開
  - 青年部会による、「財政健全化のための健康経営PJ」の理解及び取り組みの具体化。
    - 既に実施している企業担当者によるセミナー等、説明会の開催
- ④三者懇談会の実施（税務当局・税理士会・当会）による連携強化
- ⑤会員獲得の好事例の発表の機会を設ける（モチベーションのアップ）

### (3) 研修関係

- ①各種税務研修会の実施（新設法人説明会、決算期別税務説明会、業種別税務研修会、相続・贈与税研修会、消費税の軽減税率制度等）。
- ②公益法人としての事業実施「第6回税の絵はがきコンクール」の実施（女性部会）
- ③租税教育活動の実施（青年部会・女性部会）：2市1町の小学校6年生対象に租税教室を実施。
- ④りそなキッズマネーアカデミーへの参加 → 講師：青年部会員
- ⑤税務相談会の開催（熊谷商工会議所との共催）。
- ⑥会員向け研修会・セミナーの充実（経営者、幹部社員、営業・経理担当、新入社員、パソコン研修等）及び参加者の増加を図る。
- ⑦県連主催の北部ブロック四法人会「公開講演会」への受講者の増加推進。
- ⑧青年部会員を対象とした事業承継税制をテーマとしたシリーズ研修会「垂統塾」を親世代の法人会員及び女性部会員の参加者の拡大。
- ⑨「税を考える週間」行事として、特別講演会の開催（公開講演会）。
- ⑩ビデオテープ・DVDの在庫充実と利用促進、インターネット研修等について、税務研修会・説明会時に利用促進を図る（オンデマンド研修の推進）。
- ⑪自主点検チェックシート・ガイドブックの普及啓発
  - 自主点検チェックシート・ガイドブックの配付及び勉強会を実施（税務署担当官の指導・DVDの利用による自主点検チェックシートの促進）。

### (4) 税制関係

#### 《税制改正に関する提言》

- ①税制改正については、全国の中小企業の租税負担の軽減と合理化・簡素化及び適正公平な税制・税務に関する提言を行うため、役員から税制に関するアンケートを実施。又、埼玉県法人会連合会では全会員を対象にアンケートを実施している。幅広く会員から意見を吸収し、集約した上で全法連へ提言。
  - （令和2年度も引き続き全会員を対象にアンケート実施、役員回収率100%必成）
- ②2021年度の税制改正に関する提言を、上部団体を通じて関係機関に具申、政府、国会、地元選出議員及び地方自治体に対して要望活動を実施する。
- ③全法連のデータファイル「行動する法人会」より、提言活動の様態を会報等に掲載し、広くPRを行う。

### (5) 社会貢献関係

#### 《社会貢献活動》

- ①地域で開催される多様なイベントに積極的に参加し、諸団体・機関との連携を深めるとともに、地域社会の一員として地元へ密着した活動を通じて広く社会への貢献活動に取り組む。

- 地域イベントへの協賛・参加（経費の有効活用の観点から重点項目の絞り込み）
- ②会員相互の親睦・交流と異業種交流による組織の活性化に資するため、各支部に於いて行われる各種事業に積極的に参加する。
  - 視察研修会
  - 賀詞交換会等の交流活動
  - 親睦ゴルフ大会・ボーリング大会等々
- ③「さいたま緑のトラスト運動」基金への参加協力
- ④エコキャップ回収運動の推進
- ⑤「いちごプロジェクト」の推進による環境活動への取り組み（女性部会）

## (6) 広報関係

- ①広報誌「法人くまがや」をリニューアル化し、各支部の情報発信ツールとして内容充実とフレッシュな情報を提供する。
- ②情報誌「ほうじん」の配布。
- ③その他各種資料の斡旋及び配布（会員に役に立つ冊子を提供する）。
- ④管内未加入法人に対し当会のPRと加入勧奨広報の実施。又、ホームページと広報誌の連動を図る。ホームページのリニューアル化（見易い、利用し易い）  
更に、ホームページをスマートフォンからも閲覧可能とし、内容充実による法人会のPR強化と会員増強に繋げる。
- ⑤法人会のイメージアップ・知名度向上を図る広報  
地元産業祭・公開講演会等に於いて、法人会のグッズ、チラシを配布。

## (7) 厚生関係(福利厚生制度の推進)

- ①会員企業の経営安定化のため積極的な普及促進に努める。推進にあたっては、受託保険会社（大同生命・AIG損保・アフラック）との連携を一層強化しつつ、福利厚生制度の安定的な運営を目指した推進活動を行う。福利厚生制度の優位性と制度利用が会員に大きなメリットであることの広報を積極的に行う。
- ②提携生損保3社による、「福利厚生制度 自主点検チェックシート」活用。
- ③提携生損保保険料収入の拡充。
- ④福利厚生制度創設50周年に向けたキャンペーンの実施（協力3社の連携強化）。
  - スローガン：想いをつないで50年「会員企業を守りたい」
  - 2021年50周年を迎えることから、キャンペーンと連動し、新規契約数の増加を目指す。
- ⑤生活習慣病予防検診事業（定期健康診断）の実施、PR活動の強化（会員向けのチラシ配布）。
- ⑥国立がん研究センターの「国立がん研究センターPET検診」・熊谷総合病院と提携した「PET-CT健診」事業の割引制度について、全会員向けに発信する。